

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業	事業番号	017-018
担当部署名	建築都市 局 交通 部	交通政策担当・公共交通担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	－		
3	事業開始年度	平成 4 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市おでかけ応援利用者証条例／堺市おでかけ応援利用者証条例施行規則／堺市バス利用促進総合対策事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民（路面公共交通利用者） ※対象者数：おでかけ応援制度対象者数（65歳以上の市民）	対象数	単位
			230,927	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	バスや阪堺電車等の利用促進や利便性向上につながる取組を実施することにより、路面公共交通の維持・活性化を図ることを目的とする		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	1. おでかけ応援制度 ・満65歳以上の市民が市内の路線バスや阪堺電車を1乗車100円で利用できるおでかけ応援制度を実施 2. バス利用促進等総合対策事業 ・バス事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取組に対して補助を実施 3. ゾーンチケット事業・周知広報事業 ・南海バス、阪堺電車が利用できる「堺おもてなしチケット」の発行、周知広報等を実施 4. 公共交通路線維持支援事業・公共交通省エネルギー対策支援事業 ・路面公共交通事業者に対し、燃料費等の高騰による負担増への支援や踏切照明のLED化に要する経費の補助を実施		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社、阪堺電気軌道株式会社		
10	公民連携・協働事業	民間路面公共交通事業者と共同事業として実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	おでかけ応援制度の延べ年間利用者数	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	5,000,000	5,563,000	5,563,000	6,181,000
			実績値	5,126,566	5,291,274		
			達成率	103%	95%		
	当該指標を選定した理由	延べ年間利用者数が高齢者の路面公共交通の利用状況を把握できることから成果指標とする					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度は新型コロナ拡大前の令和元年度実績の9割、点検年度は令和元年度実績と同水準とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	おでかけ応援カードの保有率	%		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	71	71	72	
			実績値	71	72		
			達成率	100%	101%		
	当該指標を選定した理由	制度目的（公共交通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進）の実現につながるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	（前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数）÷（前年度3月末時点の65歳以上の人口）					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		公共交通利用促進事業				事業番号		017-018			
-------	--	------------	--	--	--	------	--	---------	--	--	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		決算		決算		当初予算		当初予算			
13	事業費（a）	487,514		504,097		506,089		515,499		569,886	
	国支出金	68,379		49,007		0		41,605		0	
	府支出金	0		0		0		0		0	
	市債	0		0		0		0		0	
	その他（ ）	0		0		0		0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	7,596		8,463		9,130		8,878		9,876	
	一般財源	411,539		446,627		496,959		465,016		560,010	
14	人件費（b）	25,040		26,060		21,100		21,100		24,230	
15	年間経費(c)=(a)+(b)	512,554		530,157		527,189		536,599		594,116	

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目		年度		事業費		うち一般財源		項 目		年度		事業費		うち一般財源	
		おでかけ応援制度等負担金		R5	決算	456,114	456,114	バス利用促進等総合対策事業補助金		R5	決算	0	0				
				R6	予算	538,520	538,520			R6	予算	10,875	10,875				
		おでかけ応援カード発行等委託料		R5	決算	10,770	4,337	公共交通路線維持支援事業		R5	決算	39,615	0				
				R6	予算	11,427	4,271			R6	予算	0	0				
		おでかけ応援ICカード申請書印刷 発送準備等委託料		R5	決算	1,287	1,287	公共交通省エネルギー対策支援事業		R5	決算	1,990	0				
				R6	予算	1,750	1,750			R6	予算	0	0				
		おでかけ応援ICカード管理システム 運用保守等委託料（IT経費）		R5	決算	990	990	印刷製本費		R5	決算	277	277				
				R6	予算	1,760	1,760			R6	予算	459	459				
		通信運搬費		R5	決算	4,456	2,011			R5	決算						
				R6	予算	5,095	2,375			R6	予算						

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17		区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	①	おでかけ応援制度の延べ年間利用者数	人	5,126,566	5,291,274
	②	上記①にかかる年間経費	千円	459,654	479,759
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	90	91
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・令和4年度と比較すると、令和5年度は新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い、市民の外出への抵抗感が薄れたことにより、延べ年間利用者数は増加している。それに伴い、年間経費は比例して増加するため単位当たり経費は大きく変化していない。	
	・おでかけ応援利用者証の発行費用については、受益者負担を求めている、適正な制度運用を行っている。	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19	・おでかけ応援制度の実施により、公共交通の利用促進に寄与した。	
	・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し、依然として同感染症拡大前の水準に戻っていないことに加え、原油価格・電力価格高騰により厳しい経営状況にある路面公共交通事業者に対し、燃料費等の高騰による負担増への支援や踏切照明のLED化に要する経費の補助を実施したことで、路面公共交通の維持・確保に寄与した。	